

事業所名 放課後等デイサービス やまのこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		一人ひとりが自分らしく輝くための支援 子どもたちのみらいには、どんな出会いや喜びが待っているのでしょうか。私たちは子どもが適切な支援を受け、自分の力でいきいきと生活する笑顔のみらいを目指します。保護者の皆様と子どもたちのみらいへ思いを共有し「出来た」ことが「楽しい」に繋がる発達支援を行います。				
支援方針		個別療育：一人ひとりの発達段階に合わせ、認知、運動、コミュニケーションの課題に取り組みます。小集団療育：「ルールを守る」など、周りのことに気付き他者を意識するという、社会生活を営む上で必要な力を育みます。				
営業時間		9時	45分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	体調管理においては連絡帳に朝の熱を記入して頂き、事業所でも検温の実施をしています。又、学校での様子も先生より確認したり送迎時親御様に本日の様子を伝えていきます。来所時では本人様の様子を確認する中で服装や表情、会話等に気をつけていきます。いつもと違う様子が見られた時には本人と話をしていきます。その後ご家族の方と情報共有を行います。又、服薬をされている方に関しては定期通院後の様子を確認していきます。				
	運動・感覚	日々の活動を通して「運動」を取り入れています。子ども達の好きな遊びの中で大きく身体を動かす事や走ったり、ボールを使い手先の運動、大きさの違うボールを使い感覚にも気を付けていきます。又、初めての運動に参加する際にはしっかりと遊び方の説明やルールを伝えていき、子ども達の様子を観ながら参加してもらいます。出来る事を少しずつ増やしていきます。室内ではカードやパズル、ルービックキューブ等に触れたり、制作活動では、はさみや色鉛筆を使い独自の個性感に繋げていきます。				
	認知・行動	「本日の流れ」をタイムスケジュールとして分かりやすく視覚支援していき前もって確認してもらいます。長期休みでは「当番」を決めてその日の天気、気温、日付けの把握と確認をしていきます。活動の内容等においては子ども達に考えてもらい、行動してもらいます。特性によって活動に参加が難しい時やルール等の理解が難しい時には少人数を設けたりして配慮していきます。季節の変化は「食育」を通して「旬」を感じてもらい伝えていき、季節に応じた活動を取り入れていきます。				
	言語 コミュニケーション	子ども同士の遊びの中で「貸して」や「どうぞ」の言葉と言葉のやり取りや相手の名前を覚える事でコミュニケーションが生まれると思います。又、子どもとの会話を大事にしていき「何が言いたい」のか言葉だけではなく手振り、ジェスチャー、行動等の動きでくみ取っていきます。又、「発表」の場面を設けて色んな話が他児らの前で無理なく出来るように促していき自信をつけてもらいます。活動の中でSSTを取り入れていき「考える力」を身につけていきます。				
	人間関係 社会性	戸外活動を通して社会でのルールや約束事を伝えていき、「楽しかった」「また行きたい」と思う気持ちに繋げていきます。又、新しい場所へは前もっての情報を伝えていき不安な気持ちになる事無く参加してもらいます。事業所内での活動の場面でも必要な「ルール」や「話を聞く力」を伝えていき戸外活動にいかせる様にしていきます。日頃の子どもの同士の関りから小さな人間関係を構築していき、縦のつながり（上級生は下級生の手本となり優しい気持ちを持って行動）が緩やかに出来るようにしていきます。				
家族支援		親子活動や保護者勉強会：同じ悩みを持つ保護者同志の繋がりを作りながら家族をサポートしていきます。また適切な就学や転園のついて一緒に考え、子どもの状況にあった進路のサポート等も行っていきます。			移行支援	地域と繋がりながら日常生活を送る為、地域住民の方との交流。地域の生活の場や育ちの場と学校教育との情報交換。
地域支援・地域連携		他の通所事業所との交流と情報交換 地域連携会議への参加			職員の質の向上	職員の各種勉強会や外部研修への参加。 児発管等資格取得の支援あり。
主な行事等		季節の行事（夏祭り・クリスマス会）等。戸外活動（高齢者施設への訪問・公園等へのお出かけ）等。調理レク（月2回）程度。				